



2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年12月28日

上場会社名 DCMホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3050 URL <https://www.dcm-hldgs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 COO (氏名) 石黒 靖規
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務統括部長 (氏名) 熊谷 寿人 TEL 03-5764-5214
 四半期報告書提出予定日 2021年1月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	364,410	8.1	28,219	57.8	27,856	60.2	19,061	63.2
2020年2月期第3四半期	337,212	△1.7	17,886	△2.9	17,391	△0.3	11,682	2.1

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期22,653百万円(94.3%) 2020年2月期第3四半期11,660百万円(△14.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	132.69	124.33
2020年2月期第3四半期	87.50	75.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	482,090	233,759	48.5
2020年2月期	434,733	200,213	46.1

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 233,759百万円 2020年2月期 200,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2021年2月期	—	16.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
 2021年2月期の期末配当予想額の内訳は、普通配当14円00銭、記念配当2円00銭となります。

3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	462,000	5.6	30,100	44.5	29,500	46.7	19,500	41.5	139.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期3Q	161,833,770株	2020年2月期	146,470,466株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	9,625,887株	2020年2月期	10,022,020株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期3Q	143,653,136株	2020年2月期3Q	133,507,719株

(注) 自己株式数には、「役員報酬BIP信託口」の所有する当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記載は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
商品別売上情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言解除後、各種経済対策が講じられていますが、厳しい状況が続いております。

小売業界におきましては、未だ収束が見えない新型コロナウイルス感染症による景気の下振れリスク、個人所得や雇用の悪化リスクなど、先行きは不透明で厳しい経営環境にあります。

このような状況のもと、当社グループが営むホームセンター事業については、社会的なインフラとしての役割を果たすべく、お客さま及び従業員の安全と健康を最優先に考え、感染拡大防止策を講じながら営業を継続してまいりました。また、サプライチェーンの停滞により、DCMブランド商品や季節商材などの商品供給に一部遅れがみられることがありましたが、お客さまの生活様式の変化に対応しながら、商品供給に努めてまいりました。

販売面においては、マスクやアルコール除菌、ハンドソープなど新型コロナウイルス対策商品が好調に推移しました。また、外出自粛による家庭内需要の増加や在宅勤務の拡大など生活様式の変化により、園芸用品、DIY用品、レジャー用品、インテリア用品などが好調でした。一方で、消費税増税の反動と新型コロナウイルス感染拡大により工事リフォーム関連は低調となりました。DCMブランド商品については、商品開発・店舗での販促強化などに取り組んだ効果により好調に推移しました。

当社グループの新規出店については8店舗、退店については7店舗を実施しました。これにより、当第3四半期連結会計期間末日現在の店舗数は674店舗（DCMカーマ168店舗、DCMダイキ155店舗、DCMホームマック300店舗、DCMサンワ29店舗、DCMくろがねや22店舗）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は3,644億1千0百万円（前年同期比108.1%）、営業利益は282億1千9百万円（前年同期比157.8%）、経常利益は278億5千6百万円（前年同期比160.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は190億6千1百万円（前年同期比163.2%）となりました。

セグメントごとの経営成績については、8ページ「セグメント情報等」をご覧ください。

（主要商品部門別の状況）

① 園芸部門

生活様式の変化によりガーデニングの需要が拡大し、園芸用品や植物、屋外資材などが好調に推移しました。DCMブランド商品は、除草剤を始めとして人工芝やホースリールが好調でした。その結果、売上高は558億7千4百万円（前年同期比111.6%）となりました。

② ホームインブルーメント部門

家で過ごす時間が増えたことによりDIY需要が拡大し、木材などの資材、塗料、補修用品や電動工具が好調に推移しました。その結果、売上高は756億3千5百万円（前年同期比111.8%）となりました。

③ ホームレジャー・ペット部門

外出自粛や在宅勤務拡大の影響を受けて、室内スポーツ・トレーニング用品が好調に推移しました。また、近場で楽しめるレジャー用品も好調でした。その結果、売上高は529億2百万円（前年同期比105.5%）となりました。

④ ハウスキーピング部門

新型コロナウイルス感染対策としてマスクやアルコール除菌関連商品等が好調に推移しました。また、家で過ごす時間が増えたことにより、調理用品や清掃用品も好調に推移しました。DCMブランド商品は室内空間除菌が好調でした。その結果、売上高は841億2千0百万円（前年同期比107.3%）となりました。

⑤ ホームファニシング部門

在宅勤務の拡大によってビジネスチェアやデスク等のオフィス家具が好調に推移しました。インテリア用品につきましても、お部屋の模様替え需要もあり好調でした。その結果、売上高は214億6千2百万円（前年同期比110.4%）となりました。

⑥ ホームエレクトロニクス部門

家で過ごす時間が増えたことにより、空調機器や調理家電が好調に推移しました。秋口からは、空気清浄機のほか、乾燥対策として加湿器も好調でした。一方、リフォーム工事関連は低調な状況が続いています。その結果、売上高は363億4千5百万円（前年同期比108.8%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産残高は、新規借入などによる現預金の増加や、季節的要因により売掛金や商品が増加したことから、資産合計は前連結会計年度末に比較して473億5千7百万円増加し、4,820億9千0百万円となりました。

負債残高は、新株予約権付社債の転換が進んだ一方、借入金が増加したことなどから、負債合計は前連結会計年度末に比較して138億1千0百万円増加し、2,483億3千0百万円となりました。

純資産残高は、配当金の支払による減少の一方、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加や、新株予約権付社債の転換による資本金及び資本剰余金の増加などから、純資産合計は前連結会計年度末に比較して335億4千6百万円増加し、2,337億5千9百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の連結業績予想につきましては、2020年9月18日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,306	66,213
受取手形及び売掛金	14,883	21,230
リース投資資産	1,321	1,292
商品	99,606	102,343
その他	7,500	8,146
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	161,618	199,226
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	224,148	226,033
減価償却累計額	△134,234	△136,816
建物及び構築物(純額)	89,913	89,216
土地	81,979	81,958
リース資産	19,736	21,202
減価償却累計額	△5,726	△6,469
リース資産(純額)	14,009	14,732
建設仮勘定	3,526	9,946
その他	39,980	39,533
減価償却累計額	△33,476	△33,404
その他(純額)	6,503	6,129
有形固定資産合計	195,932	201,984
無形固定資産		
のれん	1,025	804
借地権	6,375	6,376
ソフトウェア	5,285	4,863
その他	38	34
無形固定資産合計	12,725	12,078
投資その他の資産		
投資有価証券	19,604	25,035
敷金及び保証金	39,333	38,559
繰延税金資産	2,653	2,787
長期前払費用	2,156	1,920
その他	778	562
貸倒引当金	△70	△64
投資その他の資産合計	64,456	68,800
固定資産合計	273,114	282,863
資産合計	434,733	482,090

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,657	38,279
電子記録債務	29,480	22,199
短期借入金	12,400	496
1年内償還予定の新株予約権付社債	16,121	1,280
1年内返済予定の長期借入金	6,379	13,093
リース債務	1,178	1,428
未払法人税等	4,011	6,755
賞与引当金	1,906	4,413
役員賞与引当金	—	27
ポイント引当金	1,254	2,470
その他	14,353	16,755
流動負債合計	119,743	107,197
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	78,324	103,767
リース債務	15,755	15,982
繰延税金負債	566	1,436
再評価に係る繰延税金負債	147	147
役員株式給付引当金	90	19
退職給付に係る負債	286	277
資産除去債務	1,964	2,009
長期預り金	4,983	4,894
その他	2,656	2,597
固定負債合計	114,776	141,132
負債合計	234,519	248,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,939	19,360
資本剰余金	47,017	54,437
利益剰余金	150,029	164,762
自己株式	△10,114	△9,733
株主資本合計	198,871	228,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,220	6,839
繰延ヘッジ損益	△1	△16
土地再評価差額金	△1,935	△1,935
退職給付に係る調整累計額	58	46
その他の包括利益累計額合計	1,341	4,933
純資産合計	200,213	233,759
負債純資産合計	434,733	482,090

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	331,658	359,179
売上原価	223,063	239,075
売上総利益	108,594	120,104
営業収入		
不動産賃貸収入	5,554	5,231
営業総利益	114,149	125,335
販売費及び一般管理費	96,262	97,115
営業利益	17,886	28,219
営業外収益		
受取利息	126	109
受取配当金	172	180
為替差益	231	172
持分法による投資利益	285	632
その他	284	314
営業外収益合計	1,100	1,409
営業外費用		
支払利息	1,437	1,527
その他	157	245
営業外費用合計	1,594	1,772
経常利益	17,391	27,856
特別利益		
固定資産売却益	6	19
子会社清算益	60	—
投資有価証券売却益	0	86
その他	—	26
特別利益合計	66	133
特別損失		
固定資産除売却損	144	213
減損損失	14	55
投資有価証券評価損	70	32
その他	120	38
特別損失合計	350	339
税金等調整前四半期純利益	17,107	27,650
法人税、住民税及び事業税	4,750	9,251
法人税等調整額	674	△662
法人税等合計	5,424	8,588
四半期純利益	11,682	19,061
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,682	19,061

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	11,682	19,061
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△166	3,218
繰延ヘッジ損益	△15	△15
退職給付に係る調整額	△16	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	177	398
その他の包括利益合計	△21	3,591
四半期包括利益	11,660	22,653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,660	22,653
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、2015年12月21日に発行した「第1回無担保転換社債型新株予約権付社債」の新株への転換行使が大幅に進んだことから、資本金及び資本剰余金がそれぞれ7,420百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が19,360百万円、資本剰余金が54,437百万円となりました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	DCMカーマ	DCMダイキ	DCMホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	95,773	64,335	138,626	38,476	337,212	—	337,212
セグメント間の内部 売上高又は振替高	119	3	9	45,370	45,503	△45,503	—
計	95,893	64,339	138,636	83,846	382,716	△45,503	337,212
セグメント利益	5,223	2,842	8,549	9,269	25,884	△7,998	17,886

- (注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)、DCMサンワ(株)、DCMくろがねや(株)及び(株)マイボフェローズにおける取引等です。
2. セグメント利益の調整額△7,998百万円は、セグメント間取引消去△7,995百万円、その他△3百万円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載すべき事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	DCMカーマ	DCMダイキ	DCMホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	104,870	70,203	149,565	39,770	364,410	—	364,410
セグメント間の内部 売上高又は振替高	119	6	12	51,062	51,201	△51,201	—
計	104,990	70,210	149,578	90,833	415,612	△51,201	364,410
セグメント利益	8,320	4,864	12,546	14,436	40,168	△11,948	28,219

- (注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)、DCMサンワ(株)、DCMくろがねや(株)及び(株)マイボフェローズにおける取引等です。
2. セグメント利益の調整額△11,948百万円は、セグメント間取引消去△11,946百万円、その他△2百万円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載すべき事項はありません。

3. 補足情報
商品別売上情報

(単位：百万円、%)

事業部門	前第3四半期 連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)		当第3四半期 連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)		(参考) 前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
ホームセンター事業						
園芸	50,057	15.1	55,874	15.6	58,797	13.7
ホームインプルーブメント	67,630	20.4	75,635	21.1	87,764	20.4
ホームレジャー・ペット	50,143	15.1	52,902	14.7	63,781	14.8
ハウスキーピング	78,421	23.6	84,120	23.4	104,790	24.4
ホームファニッシング	19,440	5.9	21,462	6.0	25,496	5.9
ホームエレクトロニクス	33,404	10.1	36,345	10.1	45,325	10.5
その他	23,906	7.2	24,188	6.7	33,008	7.7
ホームセンター事業計	323,003	97.4	350,529	97.6	418,964	97.4
商品供給高	8,654	2.6	8,650	2.4	11,036	2.6
合計	331,658	100.0	359,179	100.0	430,000	100.0

- (注) 1. 記載金額には消費税等は含まれておりません。
2. ホームセンター事業の部門別の主な取扱商品は、次のとおりであります。

部門	取扱商品
園芸	園芸用品、大型機械、農業・業務資材、屋外資材、植物他
ホームインプルーブメント	作業用品、金物、工具、塗料、補修、木材、建築資材他
ホームレジャー・ペット	カー用品、スポーツ、玩具、自転車、レジャー、ペット用品他
ハウスキーピング	日用消耗品、文具、ダイニング・キッチン、バス・トイレタリー、ヘルスケア・ビューティケア、食品他
ホームファニッシング	インテリア、寝具、家具収納他
ホームエレクトロニクス	家庭電器、冷暖房、電材・照明、AV情報機器、住宅設備、エクステリア他
その他	テナント植物、テナントペット、灯油、工事費、サービス料他